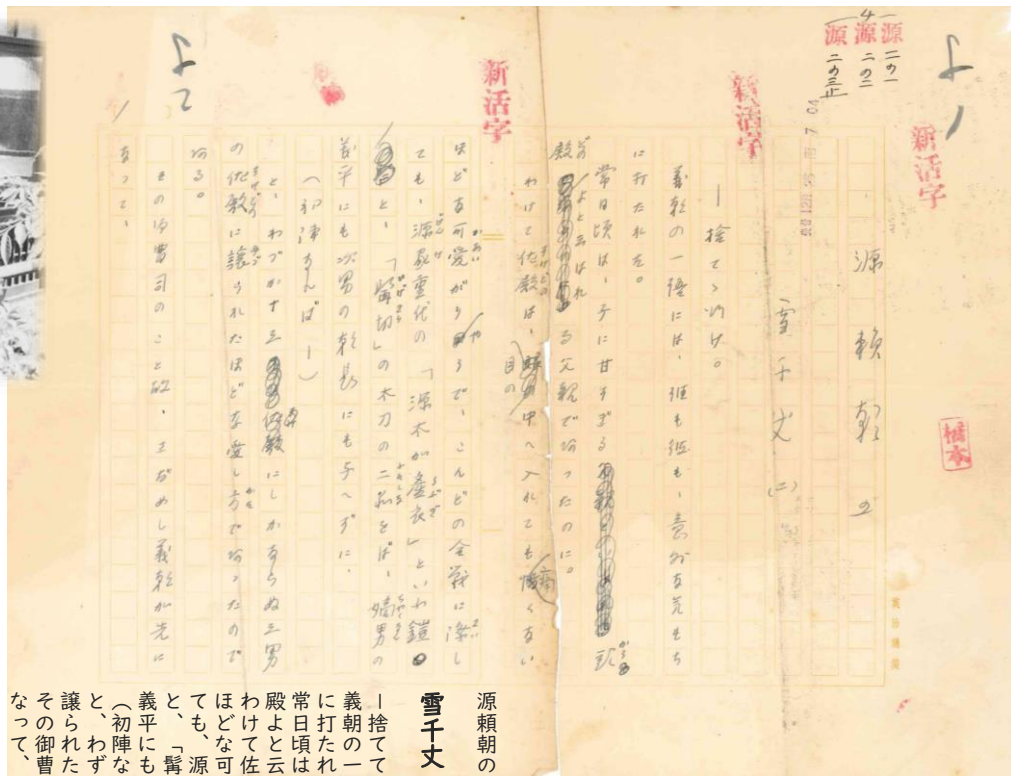


春季展示

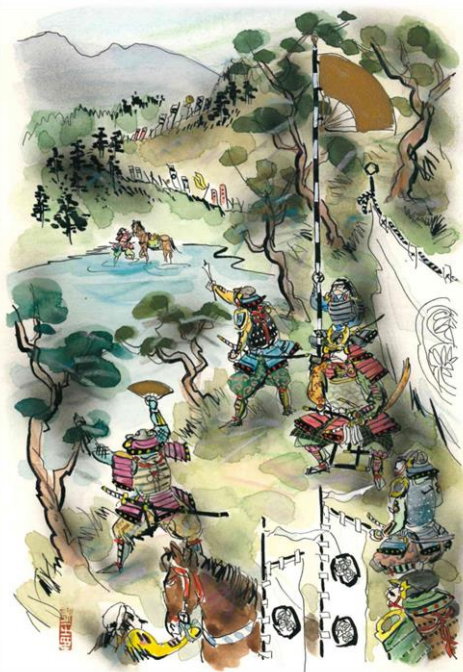
「昭和10年代の英治作品と暮らし」



家族写真(昭和16年頃)



『源頼朝』原稿(雪千丈) 吉川英治 筆



薫風陣(徳川家康)
講談社吉川英治全集『新書太閤記』挿絵
三井永一 画

源頼朝の「雪千丈(三)」
「捨てていけ。義朝の一語には、誰も彼も、意外な気持ちに打たれた。常日頃は、子に甘すぎる頭殿よと云われる父親であつたのに。わけて佐殿は、目の中へ入れても痛くないほどな可愛がりやうで、こんどの合戦に際しても、源家重代の「源太ヶ産衣」といふ鎧と、「髯切」の太刀の二品をば、嫡男の義平にも次男の朝長にも与えずに、(初陣なれば!)と、わずか十三にしかならぬ三男の佐殿に譲られたほどな愛し方であつたのである。その御曹司のこと故、さだめし義朝が先になつて、



昭和10年代に発刊された書籍

2023年4月8日(土)~6月25日(日)

開館時間	10:00~17:00(最終入館は16:30まで)
休館日	毎週月曜日
観覧料	大人 500円(400円) 小・中学生 200円(150円)
年間パスポート	大人 1,400円 小・中学生 500円
市立美術館 共通観覧券	大人 600円 小・中学生 200円 ※青梅市立美術館と青梅市吉川英治記念館を1回ずつご利用いただける共通券です ※共通券では美術館の館蔵企画展をご覧いただけます
※()内は20名以上の団体割引料金 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は手帳の提示で無料 ※青梅市内の小中学生は土日祝日無料	



国登録有形文化財
旧吉川英治邸(草思堂)

主催:青梅市・青梅市教育委員会 協力:青梅信用金庫 会場:青梅市吉川英治記念館

青梅市

吉川英治記念館

Yoshikawa Eiji Memorial Museum

国登録有形文化財
旧吉川英治邸(草思堂)



〒198-0064
東京都青梅市柚木町1丁目101の1
TEL 0428-74-9477 / FAX 0428-74-9478
指定管理者 株式会社フクシ・エンタープライズ



【NHK人形劇
『人形歴史スペクタクル平家物語』
の人形：平清盛】
川本喜八郎 作

昭和10年代から終戦にかけての吉川英治は、『宮本武蔵』や『新書太閤記』、『三国志』、『源頼朝』など数多くの作品を発表した時期であります。また、歴史小説家の人気作家として地位が向上するとともに、文子夫人との出会いや吉野村への転居など、生活も充実した時期の一つと言えます。

本展示では、この間に著された作品『宮本武蔵』や『新書太閤記』などにも焦点をあて、自筆原稿、挿絵、また、時のエピソードや本作品を原作とした映画ポスター等関連資料を展示しながら、当時の暮らしなども紹介します。

あわせて令和4年度に寄贈された作品も展示します。



吉川英治文庫『平将門』(カバー絵)
三井永一 画



吉川英治文庫『上杉謙信』(カバー絵)
三井永一 画



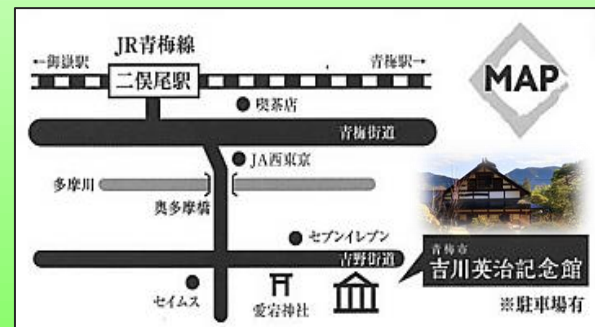
灸(豊臣秀吉軍)
講談社吉川英治全集『新書太閤記』挿絵
三井永一 画



一乗寺地形図『随筆宮本武蔵』(毎日新聞社版)挿絵
河合卯之助 画



二天記(色紙) 矢野橋村 画



- JR青梅線「二俣尾駅」下車徒歩約15分
- JR青梅線「青梅駅」下車⇒都営バス梅76系統
「吉野行」乗車⇒「柚木」停留所下車徒歩約1分

青梅市

吉川英治記念館

Yoshikawa Eiji Memorial Museum

期間中のイベント

地域連携事業 『五月人形展』

2023年4月29日(土・祝)~5月21日(日)
地域の方々などからお借りした五月人形などを記念館の母屋に展示いたします。

【事前申込制】 記念館で読書案内

2023年5月6日(土)13:00~14:00
4/23~5/12までは、「こども読書週間」です。
市立図書館員による「出張おはなし会」としてブックトークや昔話などの語り、絵本の読み聞かせなどをおこないます。
定員:20名 参加費:無料(別途入館料有・市内小中学生は無料)

※変更があった場合は、事前に当館ホームページなどでお知らせします。

※記念館では入館前の検温、手指消毒をお願いしています。